

なからぎ

220号

2018年1月

おとなを魅了する絵本の世界

学長 築山 崇

我が家の本棚、いまもその一角を絵本が占めています。長男が生まれる少し前に妻が購入した、「海外秀作絵本」というシリーズです。当時はまだ小さかった子どもたちを寝かしつけるため、時に10冊を超える絵本を読むのが日課でした。『どろんこハリー』『ちびゴリラのちびちび』『ガンピーさんの舟遊び』など、お気に入りの本も少なくありませんでした。絵本というと、どうしても子どものものというイメージが強くありますが、絵そのものの芸術性が高く、ストーリーも大人の心に響くものが少なくないことに後年気づくことになります。そんな、絵本との出会い直しの場となったのが、信州安曇野の「絵本館」でした。

安曇野絵本館は、日本の子ども向けのものとは全く違う絵本の文化に偶然出会ったオーナーが、信州安曇野の森の中に開いた「おとなのための絵本館」でした。季節ごとの原画展を軸に、なんとも魅力的な安らぎの時間がそこにありました。かれこれ25年、お客さんが少ないときは、カフェコーナーのカウンターで、絵本に限らず、とりとめのない人生談義にオーナー夫妻と楽しい時間をすごしたものでした。

ミヒヤエル・ゾーヴァ画（『ちいさなちいさな王様』）、フレデリック・バック画（『木を植えた男』）、ガブリエル・バンサン（『アンジュール』）、スーザン・バーレイ（『忘れられない贈り物』）、バーバラ・クーニー（『エミリー』）などの絵が浮かびますが、それぞれ描かれている世界が深く、読み手の心の深いところに届いてくるものがありました。

安曇野絵本館は、2015年夏に閉館、オーナーも翌年春に不慮の事故で亡くなるなど寂しくなりましたが、幸いなことに、オーナーに共感した私の学生時代の後輩が、京都で「小さな絵本美術館 カフェ・響き館¹」を開いて、絵本の魅力を熱心に発信してくれています。

絵本を読んでいると、その余白に様々な想像が生まれ、自分の心の中に、それまで気づかなかった新しい世界を発見するような気がします。絵本はそんな不思議な力を持っているように思えてなりません。

(つきやま たかし)

1 「小さな絵本美術館 カフェ・響き館」左京区岩倉上高野白川通宝ヶ池西入
URL hibikikan.com

『ちいさなちいさな王様』アクセル・ハッケ作 ミヒヤエル・ゾーヴァ絵 那須田淳、木本栄訳 講談社 1996刊（請求記号943.7 || H）、『木を植えた男』ジャン・ジオノ原作 フレデリック・バック絵 寺岡襄訳 あすなろ書房 1989刊（請求記号953.7 || G）、『アンジュール：ある犬の物語』ガブリエル・バンサン作 BL出版 1986刊（請求記号726.6 || V）、『わすれられないおくりもの』スーザン・バーレイさく・え 小川仁央やく 評論社 1986刊（請求記号933.7 || V）、『エミリー』マイケル・ビダードぶん バーバラ・クーニーえ 掛川恭子やく ほるぷ出版 1993刊（請求記号933.7 || B）は、2階視聴覚コーナーに配架していますので御活用ください。

地形図、絵図、古写真から見た過去の景観の移り変わり

図書館運営委員 高原 光

はじめに

京都盆地は、まわりを、東山、北山、西山に囲まれ、どこから見ても、遠景に森が見える優れた景観を持っており、豊かな自然環境を維持しながら、学術文化の発信地として重要な機能を有している。このような自然環境と文化的環境が両立してこそ、環境の世紀とも言われる21世紀における発展にふさわしい場となるであろう。各大学や公立の図書館、総合資料館（歴彩館）などがある京都には、多くの貴重な資料が保存、公開されている。それらのなかで、地形図や絵図、写真といった過去のある時点を視覚的に示す資料には、その資料の本来の目的ではないかもしれないが、その当時の景観が記録されていることが多く、景観の移り変わりを解明する資料としても重要である。景観の変遷は、その地域の人々の活動と自然景観の歴史を示していると考えられるため、これを読み解くことによって、現在を客観的に評価した上で、未来の方向を定めることができる。ここでは、このような地形図、絵図、古写真などの資料からどのようなことが分かるかを述べてみたい。

1. 平安京以前の植生

京都府立大学のすぐ北にある深泥池には、10万年間以上の自然環境を記録している堆積物があり、私の専門とする花粉分析（堆積物中の化石花粉の種類と量から過去の植生を復元する方法）などの古生態学的手法によって、植生変遷が解明されてきた (Sasaki and Takahara, 2011; 佐々木ほか, 2011)^{1,2}。京都盆地に平安京が造営された794年よりも前の7世紀以前には、カシ類やシノキ類の常緑広葉樹が優占しスギ、ヒノキなどが伴う植生であった。ところが、8世紀には、アカマ

ツが増加しはじめ、室町時代以降には、アカマツ林に変わってしまう。アカマツの増加は、本来の常緑広葉樹林が破壊されたため、植生遷移が起こり、陽光をこのむアカマツなどの陽樹を中心とする森林が形成されたためである。室町時代から江戸時代にかけて、京都に残る多くの絵図の解析から、アカマツが散在するか、低木あるいは草地などからなる植生であったことが明らかにされている (小椋, 1992)³。これは、京に暮らす人々が、燃料や肥料に用いるため、柴（低木を刈り取ったもの）として、森林から樹木を常に切り出していたことによって、このような植生が長く続いてきた。

2. 明治時代における下鴨地域の景観

現在、国土地理院から発行されている5万分の1や2万5千分の1地形図には、等高線など地形を示す情報以外に、植生などを示す記号が表示されている。この植生を示す記号を調べることによって、過去の植生を知ることができる。明治時代に帝国陸軍によって作成された仮製地形図には、詳しい植生の記号が示されており、これを解析することによって里山の景観を復元することが可能である (小椋, 1996)⁴。

明治22年 (1889年) 発行された仮製地形図を見てみると、京都府立大学の周辺の下鴨地域は、ほとんど人家のない田が広がる地域であった。賀茂川の西側には堤防があるが、東側にはなく、洪水時には賀茂川の水は東側へ流れ込み、氾濫原を形成していたであろう。賀茂川沿いには竹林が拡がり、現在の植物園から府立大学キャンパスあたりには茶畑と水田、コンサートホールや府立大学にかけては水田であった。植物園内にある半木神社（流

木神社)の位置には広葉樹を示す記号がわずかに記されている。

また、絵図や写真はさらに具体的な景観情報を提供してくれる。京都明細大絵図(京都歴史資料館蔵)でも、下鴨神社を除いて下鴨一帯は裸地になっており、半木神社の位置には樹木が描かれている。賀茂川を越えて西側には賀茂川に沿って豊臣秀吉によって1591年築かれた御土居が残っている。大正時代に撮影された黒川翠山の写真(京都府立総合資料館蔵)によると、この御土居の上に背の高いマツが点々と並び、賀茂川を挟んで遠方に半木神社と考えられるこんもりした森が見えている。上賀茂から西へ向いての写真(京都府立植物園所蔵)では、半木神社には、少なくとも20本程度の高木がまとまって生えていることが読み取れる。当時は植物園が開園する直前で、現在の京都府立大学と植物園のあるあたりは、上記の地形図のとおり、畑か水田であった。これらの資料には、現在植物園の西側域の賀茂川沿いに並ぶケヤキ、エノキなどの巨木は見あたらない。

3. 糺の森の植生

下鴨神社の森は「糺の森」として、下鴨の自然景観としても重要である。吉田(1993)⁵は江戸時代の都名所図絵、下賀茂境内之絵図、明治初期の賀茂御祖神社社頭図などから下鴨神社境内にはマツが多く描かれていることを指摘し、その後、エノキ、ムクノキなどのニレ科樹木が優占していったとしている。花粉分析からも竹岡・高原(1992)⁶は、マツやスギの多い植生からエノキ、ムクノキ、シイノキの多い植生へ変化してきたことを示している。このように絵図による景観の推定と、堆積物の花粉分析からの植生変遷は矛盾しない結果を示している。

絵図などで見てきたように、明治時代に、ほとんど農地であった下鴨地域には、大正時代に京都府立農林学校(京都府立大学の前身)、京都府立植物園が建設され、昭和に入

り、周辺が住宅地として開発されていった。しかし、住宅地が広がる中にも、植物園と府立大学構内、下鴨神社には森林や農地の緑が広がり、自然豊かな地域となっている。また、周辺の丘陵ではアカマツから落葉広葉樹林、常緑のシイ林へと遷移しているが、森林としての景観が維持されてきた。下鴨地域が、このような景観の歴史も考慮に入れ、環境の世紀と言われる21世紀にふさわしい真の緑豊かな文化地域として発展してほしいと願っている。

引用文献

- 1) Sasaki, N. and Takahara, H. (2011) Late Holocene human impact on the vegetation around Mizorogaike Pond in northern Kyoto Basin, Japan: a comparison of pollen and charcoal records with archaeological and historical data. *J. of Archaeological Science*, 38, 1199-1208
- 2) 佐々木尚子・高原 光・湯本貴和(2011) 堆積物中の花粉組成からみた京都盆地周辺における「里山」林の成立過程. 地球環境, 16 (2), 115-127. (請求記号 chi) 雑誌書庫 (B 1 書庫)
- 3) 小椋純一(1992) 絵図から読み解く人と景観の歴史. 雄山閣. (請求記号 291.62 || O)
- 4) 小椋純一(1996) 植生からよむ日本人のくらし 明治期を中心に. 雄山閣. (請求記号 291.013 || O)
- 5) 吉田博宣(1993) 京の森. 「下鴨神社 糺の森」(四手井綱英 編)、ナカニシヤ出版, 32-52. (請求記号 291.62 || S)
- 6) 竹岡政治・高原 光(1992) 下鴨神社糺の森内土壌の花粉分析. 史跡賀茂御祖神社境内(糺の森)花粉化石分析調査報告書、宗教法人賀茂御祖神社.

(たかはら ひかる：
生命環境科学研究科教授)

引用文献の3)、4)、5)は、2階視聴覚コーナーに配架していますので御活用ください。

施設予約システムの利用方法



2月1日(木)から個人研究室・グループ研究室やマイクロリーダー、製本機の仮予約が図書館 HP からできるようになります。利用するには学籍番号(又は図書館利用カード番号)とマイライブラリのパスワードが必要です。

マイライブラリで来館することなく色々な図書館サービスが利用できますので、まだ、利用されていない方は、学生証を持って、平日の17時までに図書館カウンターでパスワードの申請を行ってください。

個人研究室やグループ研究室を図書館 HP から予約して、どんどん利用してください。

申込みをすると仮予約として表示されます。図書館で承認されて初めて予約されたことになります。月曜日10:30までと土日全日分の予約申込みは本システムからはできません。平日17時までにカウンターへ(平日17時以降と土日のカウンターでは、その場にある予約状況一覧で確認できる分のみ受け付けます。)

① 図書館 HP

クリック



② 施設予約ログイン画面

利用者ID:学籍番号又は図書館利用カード番号
パスワード:図書館 Web サービス申請書に記入されたパスワード(マイライブラリのパスワード)

③ 施設予約をするには

* 府大生が仮予約の申請を行えるのはログイン日の2日後から14日後までの間です。(教職員は30日後まで)

* 土日の全日と月曜10:30までに対してはシステム予約することができません。平日17時までに直接カウンターで申込みをしてください。

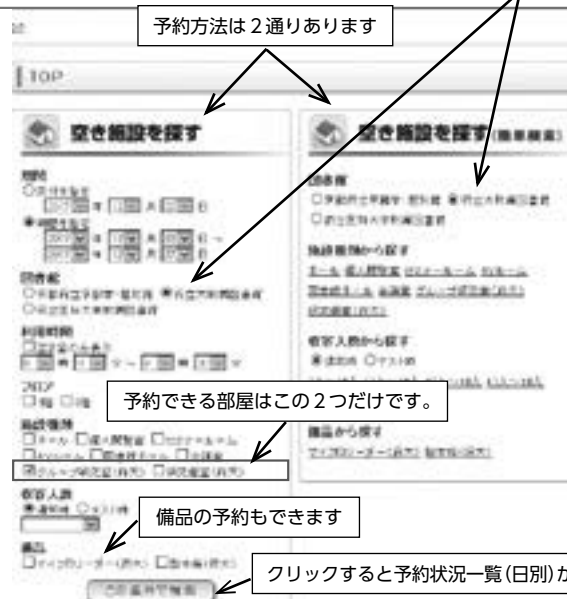
例 府大学生の場合

ログイン日:2017/11/13(月)
11/13(月)、14(火)への予約は×
11/15(水)~17(金)への予約は○
11/18(土)、19(日)への予約は×
11/20(月)~22(水)への予約は○
11/23(木)は休館日のため×
11/24(金)への予約は○
11/25(土)、26(日)への予約は×
11/27(月)への予約は○

11/28(火)以降は14日を超えているため、システムからの予約はできません。カウンターで申込みをしてください。

必ず府立大学附属図書館を選択

予約方法は2通りあります



3館共通システムのため歴史館・医大の施設も表示されませんが府大図書館の施設以外は予約も利用できません。

④ 仮予約をする

予約状況一覧(日別)

現在の予約状況が表示されています。
予約できる施設(「予約する」ボタン)が表示されています。
「予約する」ボタンをクリックすると、予約申込へ進みます。

前日△ 2017年12月26日(火) 次日△

【時間単位で予約できる施設】 予約する が表示しない日は仮予約ができない期間です。

クリック

申請者以外の他の利用者には予約ありとしか表示されません。

図書館で承認するまでは仮予約状態です。

貸出用 PC・プロジェクター希望の場合はここに入力

学外者がいる場合に入力

承認の連絡が必要な方は備考欄に承認連絡希望とメールアドレスを入力してください。

使いたい施設・備品の予約可能時間が表示されます。部屋の定員や注意事項もご覧ください。
月の10:30までと土日の予約は直接カウンターで申込みをしてください。

曜日	予約可能時間	備考
月	10:30 ~ 20:00	貸出用 PC・プロジェクター希望
火	9:45 ~ 20:00	学外者不可
水	9:45 ~ 20:00	学外者不可
木	9:45 ~ 20:00	学外者不可
金	9:45 ~ 20:00	学外者不可
土	予約不可	学外者不可
日	予約不可	学外者不可

- *先にカウンターでの予約があった場合は不承認となります。
- *個室の予約は3時間以内です。それ以上の時間でもシステム上受理されますが、図書館での予約確認時に不承認とします。必ず3時間以内で申請をしてください。当日利用終了時に予約がなければ1回だけ延長可能です。

⑤ 予約状況の確認



済 になっていれば予約承認済みです。
原則図書館から予約承認の連絡はしません。この欄を見て確認をしてください。
不承認の場合はメールで連絡します。

空欄の場合はまだ仮予約状態です。
取消・変更ができます。
(承認済みの取消・変更や未承認であっても当日・前日の取消・変更はシステム上でできないため、703-5130に必ず電話をしてください。)

*カウンターで申込書による予約の場合は府大生も利用希望日の前月 1 日から予約可能です。(受付：平日の17時まで)
例外：2018年2月分の予約-2017年12月27日から可能です。
(12月28日～2018年1月4日まで年末年始休館のため)

カレンダー

9:00～ 21:00	9:00～ 17:00	休館 第2水曜日 祝日
----------------	----------------	-------------------

※平日17:00以降、土日は行ってないサービスもあります。
ご了承ください。
諸般の事情で、返却ポストが利用できません。
ご迷惑をおかけしますが、開館時間中にカウンターへ返却してください。



2018年1月							2018年2月							2018年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31

★1/16(火) 冬休み貸出返却日
★1/22(月)～2/10(土) 府民貸出停止
★1/29(月)～ 春休み貸出スタート
(府大学生・教職員のみ)
返却予定日 在学生 4/9(月)
卒業(修了)予定者 2/28(水)

★2/11(日)～ 府民貸出再開

★3/26(月)～ 府大学生・教職員通常貸出

